

令和6年度 大田区立都南小学校 自己評価 報告書

令和7年2月8日

○ 本校の概要

○学校規模……児童数:374名・学級数:13学級・教職員数(34名):校長1名、副校長1名、教員17名、養護教諭1名、非常勤教員1名、特別支援専門員1名、講師3名、事務1名、区会計年度任用職員5名 区非常勤等1名、スクールカウンセラー2名
 ○本校の教育目標……○健康で明るい子 ○よく考え行動する子 ○人を愛するやさしい子 ○終わりまで仕事をやりぬく子 (特に○印を重点とし確かな学力の定着と豊かな心の育成を目指す。)
 ○本年度の主な取組……校内研究:教科(道徳科) 研究主題「考えたくなる道徳授業の工夫」各学級の実践を通して実現する。
 ○特色ある教育活動……『学校体制で学級経営を支える「学習」「学年」「地域」の力 対話で育つ都南の子』をテーマとしてカリキュラムマネジメントを取り入れた教育活動を進める。
 「都南の学び合い」都南小学校のきまりを継続的に指導し、日々の積み重ねによる基礎的、基本的な学力の定着と自律した生活態度の伸長を図る。学校支援地域本部「スクールサポートとなん」と連携した学習サポート事業を充実させる。
 コーディネーショントレーニングを活用して体力向上を図る。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄												
								評価	人数	コメント										
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未成 来し社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	都南の学び合いアンケートにおいて、「学校での勉強や生活に一生懸命取り組むことができる」と答えた児童が80%以上。	4:		A	4	・指導者が教科横断的な視点で授業を構想し展開することや、児童が意欲的に活動することに課題が見られる。児童に説明させたり、互いの考えを交流したりする場面を増やし、主体的な立場で授業に関われる場面を増やしていく。										
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								都南の学び合いアンケートにおいて、「学校での勉強や生活に一生懸命取り組むことができる」と答えた児童が70%以上。	3:	B	1	・社会科見学や地域めぐりなどの校外での学習を通して、周囲で起きていることを自分事と考える機会を設定できた。					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													都南の学び合いアンケートにおいて、「学校での勉強や生活に一生懸命取り組むことができる」と答えた児童が60%以上。	2:	C	0	・ICT機器を活用しながら授業を展開できている。デジタルとアナログの活動のバランスをどのようにするかを、児童の実態に応じて考えていく。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	2	・外国語の時間講師やALTと連携しながら、英語に親しめる環境を作ることができた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「おひさまは、地域や外国の方と積極的にコミュニケーションを図ることができる。」への回答が70%以上。	3:	B	2	・道徳科の授業のポイントや生命尊重週間の意義について教員間で共有した。共有したことをもとに授業や学級指導の時間などに、互いに尊重し合う心について児童に伝えたり、話し合わせたりして、人権への意識を高められた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「おひさまは、地域や外国の方と積極的にコミュニケーションを図ることができる。」への回答が60%以上。	2:	C	1	・SDGsなどへの関心を高めることはできたが、自分や身の回りの課題としてとらえ、行動への意欲を高めることに課題が見られる。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	2	・自国及び他国の文化の理解について取り組むのはよい。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「おひさまは、地域や外国の方と積極的にコミュニケーションを図ることができる。」への回答が60%未満。	3:	B	2	・道徳科の授業だけでなく、学級活動の時間や各教科の中でも、豊かな情操や道徳心を育成する活動を行うことができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が60%以上。	2:	C	0
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4:	A	4	・日常の授業に加え、朝学習や本校独自の検定を実施し、学力の育成を図ることができた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が80%以上。	4:	A	4	・一人一人の児童に対する教育の高さがあると思う。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・体力向上全体計画をもとに、様々な運動に親しんでいる。休み時間や放課後の時間の運動習慣ができていないので、クラス遊び等を活発にしている。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	1	・算数科において少人数指導を実施し、各教員で児童の理解度を共有することで、個に応じた指導の充実が図ることができた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が80%以上。	4:	A	4	・日常の授業に加え、朝学習や本校独自の検定を実施し、学力の育成を図ることができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が60%以上。	2:	C	0	・算数科において少人数指導を実施し、各教員で児童の理解度を共有することで、個に応じた指導の充実が図ることができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が60%以上。	2:	C	0	・算数科において少人数指導を実施し、各教員で児童の理解度を共有することで、個に応じた指導の充実が図ることができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が60%以上。	2:	C	0	・算数科において少人数指導を実施し、各教員で児童の理解度を共有することで、個に応じた指導の充実が図ることができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が60%以上。	2:	C	0	・算数科において少人数指導を実施し、各教員で児童の理解度を共有することで、個に応じた指導の充実が図ることができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。														
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が60%以上。	2:	C	0	・算数科において少人数指導を実施し、各教員で児童の理解度を共有することで、個に応じた指導の充実が図ることができた。									
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												都南の学び合いアンケートにおいて、「道徳科を中心とした各教科での学習などを通して、基礎基本の定着を図る指導や個に応じた指導を行っている。」への回答が70%以上。	3:	B	1	・校内研究と関連させながら、道徳科や日常生活の中で、様々な道徳的価値について話し合ったことで、道徳心への意識には伸びが感じられた。				
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	1:	D	0	・小中一貫教育や保幼小連携の機会に発達段階に応じた指導方法などについて情報交換し、互いに高め合える関係性を構築するよう努めている。

学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもてる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	教員向けアンケートにおいて、「授業改善や業務改善などを通して、働きやすい職場づくりができています」への回答が80%以上。 教員向けアンケートにおいて、「授業改善や業務改善などを通して、働きやすい職場づくりができています」への回答が70%以上。	4:	・児童一人一人に応じた指導について、教員間で情報交換をし、指導の充実に努めることができた。 ・個別最適な学びと協働的な学びの実現できるように検討していく必要がある。 ・校内研究を充実させることはできたが、若手の育成やウェルビーイングを高めるための活動については、さらに充実させる必要がある。	A	4	・多様性が重視される時代で、先生方のご苦労も多いかと思えます。先生方が「まだまだできる」と考えてくださっていると理解し、これからの期待します。 ・教師の職務が多岐にわたる中で、①の取り組みが高い評価で、これからはがんばってほしい。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	教員向けアンケートにおいて、「授業改善や業務改善などを通して、働きやすい職場づくりができています」への回答が60%以上。	3:		B	1	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	教員向けアンケートにおいて、「授業改善や業務改善などを通して、働きやすい職場づくりができています」への回答が60%未満。	2:		C	0	
						1:		D	0	
た 自 個 め 分 別 の 目 学 し 標 び く 5 を い 支 援 し き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者向けアンケートにおいて、「学校には、こどもたち一人ひとりに合わせた対応をするための体制が整っていると感じている。」への回答が80%以上。 保護者向けアンケートにおいて、「学校には、こどもたち一人ひとりに合わせた対応をするための体制が整っていると感じている。」への回答が70%以上。	4:	・「都南の学び合いアンケート」を年に2回行い、児童の学習や生活の実態について調査し、児童理解に努めている。アンケート結果を見ても、全体的には自己肯定感が高い児童が多いので、今後も関わり方や学習環境、生活環境を工夫し、児童の心の育成を図る。 ・学校生活調査や校内独自のいじめ防止対策委員会、必要に応じて聞き取りもし、児童の実態把握に努めている。 ・問題行動、不登校問題に関して、学級担任と管理職に加え、全職員が連携して対応している。 ・月に一度、巡回指導員やスクールカウンセラーも交えながら、特別支援校内委員会を開催し、児童の実態について共有している。	A	0	・多様性が重視される時代で、先生方のご苦労も多いかと思えます。先生方が「まだまだできる」と考えてくださっていると理解し、これからの期待します。 ・取り組みに対して成果が出ていないようだが、必ずこどもへの助けになる。児童一人一人に寄り添ってがんばってほしい。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者向けアンケートにおいて、「学校には、こどもたち一人ひとりに合わせた対応をするための体制が整っていると感じている。」への回答が60%未満。	3:		B	4	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者向けアンケートにおいて、「学校には、こどもたち一人ひとりに合わせた対応をするための体制が整っていると感じている。」への回答が60%未満。	2:		C	1	
						1:		D	0	
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 習 す 空 間 と 安 全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	「教員向けアンケート」において、「避難訓練や安全指導などを通して、安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。」の回答が80%以上。 「教員向けアンケート」において、「避難訓練や安全指導などを通して、安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。」の回答が70%以上。	4:	・生活科や社会科の学習や地域の行事などを通して、学校や地域の伝統や特色について理解を深めることができた。 ・毎月実施の避難訓練や安全指導などを通して、危険や災害に対する児童の意識を高めることができた。関係機関との連携については、必要に応じて取り入れていく。	A	3	・危険・災害に対する取り組みはよい。評価が4になるまで伸ばしてほしい。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	「教員向けアンケート」において、「避難訓練や安全指導などを通して、安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。」の回答が60%以上。	3:		B	2	
						2:		C	0	
						1:		D	0	
学 地 学 個 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 く ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 す イ 域 の 核 運 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等とおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えられていると思う。」との回答が80%以上。 保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等とおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えられていると思う。」との回答が70%以上。	4:	・「児童にとって学校を取り巻くコミュニティ全体が安心できるように、先生方がんばってほしい。 ・サマーわくわくスクールやPTA行事、地域の行事・祭事などを通して、地域と連携した活動を実施した。 ・PTAや地域と連携しながら、登下校時や放課後に、児童の見守り活動を実施している。 ・家庭教育について、発信はしているものの生活習慣として定着されていない。保護者とともに学び合う講演会や学習会などの場づくりをしていくことが課題である。	あ	4	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等とおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えられていると思う。」との回答が60%以上。	3:		B	1	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等とおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えられていると思う。」との回答が60%未満。	2:		C	0	
						1:		D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す